

# 警 城 春 秋

號六十四第  
行 警 城 警  
社 秋 春 城 警  
八 六 八 八 八 八 八 八  
人 人 人 人 人 人 人 人  
水 水 水 水 水 水 水 水  
所 所 所 所 所 所 所 所  
(行發環土週年)  
【錢十五幣一價定】

## 教員ゼネを廻る波紋

### 遂に保護者會と教組の對立 スト絶對反對ミスト斷行

教員組合のゼネストをめぐって「要求は認めて協力するがストは絶對反對だ」といふ保護者會の主張と「ストなくして要求の貫徹は期し得られない保護者が積極的に協力してくればストなくして目的は達し得られる」といふ組合の主張とが對立しはてはその波紋が生徒や父兄に迄及んでせわしい歳末にさまざまの話題を提供してゐる

## 教員組合の動き

教員組合の郡支部は十五日平支部は十七日スト態勢に入つた事を決議したが、教組の闘争態度にあきたらぬ警城民主人民聯盟は當地區の運動が従来の先生といふ觀念からぬ切れず他地區ではもはや學校管理に迄突入してゐるのに果敢な闘争に入り得ないのには保護者會といふボスの存在があるからだ。これを粉砕しないでは活潑な運動の展開は期し得られぬといふので十七日、平第三國民學校で行はれた打倒吉田内閣農大に於て「保護者會長は即時辭職し、民主的な方法で新會長を選出せよ。總會を開いて速かに父兄の總意を

## 保護者會のうごき

これに對し平市保護者會長は十八日協議會を開いて「我々は定期總會で選任さ

## 警農では

警城農學校では一般教員が教組の動きを不満としてのが早坂保護者會長が廿二日職員と懇談、場合に依つては組合脱退の空氣も動き出したと傳へられる。警女では四家ケイ先生が信仰の立場から組合員の脱退を申し出てゐる

父兄を渦中に入れたくない開かないは各校の任意とする」といふ回答を出すことに申し合せた。組合側では四日郡山に開かれた四市聯合保護者會に出席する事を清水氏に懇請したにもかかはらず出席しなかつたのは頭迷無理解な態度のあらはれと見てゐるが保護者會側ではまだその期にあらすとして静觀したのだと稱してゐる。此間清水氏が一大内君は共産黨員であつて云々」と郡山の保護者會聯盟に書き送つたとか送らぬとかいふ派生的問題も起きてゐる。なほ廿二日には午後一時から庶民金庫で郡聯合保護者會長と平保護者會長會とが既定の方針であるゼネスト反對の立場に立つて「いかにせばゼネストを避け得られるかその具體策いかに」を協議する

## 和

### 狸になつた和

人情和尙涙の大活躍！  
羅門光三郎  
見明凡太郎  
相馬千恵子  
鈴木美智子

## ウイソター

## スボーツ

福島縣スキー聯盟主催縣下スキー大會は來春一月十七八、九の三日間沼尻スキー場で開かれる。種目は中等學校對抗、指導者講習、國民學校大會、希望者はスポーツ聯盟迄申込みこと

## 櫻ヶ丘チーム

雪に涙を呑む  
復活第一回全國籠球大會東北大會は去る十四、十五の兩日山形縣酒田市で開かれたが、縣代表として出場した櫻ヶ丘チーム(警女OB)は生憎東北一帯の大雪の爲試合當日に間に合はず、やむなく非公式として、優勝した揚卷チームと試合を行



追放  
△縣主催の優良店舖投票の同聲版は口語体ではあるが相變らず文句がむづかしい。「現下物價騰貴の狀態を是正し物價休戚の一面として」さか「實生活に直面する具体的な意志の表現として」などといふいひあらはし方はもつとさや

ひ四五—二五で破つた。日本籠球聯盟では「櫻ヶ丘チームは全國優勝候補で、今度の事の爲に全日本大會に参加出来ないのは遺憾である。最善をつくしてオリジヤパン大會に出場させたい」と云つてゐるから全大會には出場出来る見込

F.T.クラブ 主催籠球練習會が二十二日から三十日迄警中控室で行はれる。希望チームは一丁目關原方向クラブ迄申込みこと

祝創刊一週年  
民衆の娛樂  
をモットーとする  
民衆劇場  
佐藤常雄  
平市紺屋町 電九二〇番

佐藤鐵工所  
社長 佐藤源吉  
本社 平市見町三番地  
電話 三六二・七三一番  
販賣部 平市四丁目  
電話 一三四番

木工建築設計請負  
平土地住宅 有限會社  
社長 正木昌次郎  
平市田町 電二〇三番

電氣工事請負  
瀧川 寛  
平市仲町十四番地  
電話 五八三番

常磐産業社  
社長 高山 弘  
平市楳小路五番地  
電話 三七二・五三四

大内近雄  
平市五丁目十一番地  
電話 新九七八番

茂木カメラ店  
茂木 茂  
平市三丁目

在日本朝鮮人聯盟  
支部長 李 影  
平市田町一番地  
電話 一七四番

命ある限り  
岡讓二 河津清三郎  
花井蘭子 濱田百合子  
石黒達也 大映特別出演

廿四日 卅日 平市 世界館

桑原計理事務所  
桑原 徹  
平市揚土 電八一五番

皆様の店  
倉大黒屋  
馬目勝次郎  
平市三丁目十五番地  
電話 七八二・七八三

雜貨マスヤ商店  
蛭田利光  
平市長橋町四十番地  
電話 十五番

生活のための職業となつたため、先生の學力と人格が素で生徒の前交兄の前にさらされたことになり、天皇が神でなかつたと同じやうに先生は一人の人間として批判的となる。聖職といふ甘い世間の同情はなくなる

△教員組合の動きは影響する所が大きい。正に精神革命だ。しかし教員組合は保護者會の支援なくしては意義をなさぬ。對立は兩者のためにはさうである

△「經濟道義に徹した店」などといふいひあらはし方なごも戦時中好んで用ひられた實質よりも文字で相手におしつける暗いいひあらはしかたである。もつとさかあらいいひあらはし方はないものだらう

△教員組合のボスターは流石に給も文句も好んでゐる。ただあれを見て生徒はさう思ふだらう。先生が聖職からはずり普通の

良人を斷頭台へ送つた妻、愛する妻を残して斷頭台の露と消えた良人、愛國の至情に結ばれた良人と妻の最高人間愛を描いた問題作

昭和一十二年年度の回顧

濱通スポーツ聯盟

理事長 永野孝夫

昭和十一年度をふりかへつて見ると、紛糾を極めた春の総選挙とインフレの昂進による労組運動の尖鋭化とスポーツ熱の勃興とは何人の脳裡にもすぐ浮んでくる大きな現象であらう。

の陽春を迎へた平在任のスポーツ愛好家の間に「日本再建のためには明らかなスポーツ精神の注入が必要だ。敗戦でくゞしてゐる民心を引き立てるためにも、位の上向のためにもこの際、快適な戸外の運動を盛んにしなければならぬ」といふ話を持ち上り、野球界の大先輩石坂一雄、水竹伊之助、坂井清之助、庭球界の根本武雄、學校側より鈴木光四郎、鈴木武雄等の諸君が参畫各方面に連絡をとり準備をすすめ四月に濱通スポーツ聯盟がうぶ聲をあげたのである。會長には従來の關係から選沼龍輔氏を副會長には鈴木傳明、渡邊伊藤氏

先生方へ



武力なき文化國家建設の爲に教育の必要性は絶對的なものでありませぬ。而して新しき日本を作る原動力としての教育の道に崇高な理想を抱き進む先生方の姿は、我々學べる者にとつてたのしみと思はれ

又責任感の強く胸にひびく響きもありません。然るに今日の我國の受ける運命の風は冷く、先生方の理想も破られ、只人間としての生活する力へ失はれんと居ります。この時に於て先生方が教育の爲、教へ子の爲、然して切實なる生活の爲に、團結して生活の安定を要求するは是に當然の事。而してこれが貫徹は國民國民つてやま地方に於ける運動方針として、ゼネストを最悪の場合断行すとの報を開き驚愕の念にかられる者の

熱を煽り得たことは喜びとする。スポーツはその普遍化に依り好い選手が生れスポーツ精神の浸透が行はれる。

われわれのねらふ所もそこにある。第三は元市役所などにスポーツの殿堂としてテニスコート、籠球コートが實現することになつた事である。最後に個人として記録される選手では平ラフの石坂照雄、佐藤正夫、野球部長水竹、氏監督坂井氏、藤園吉田氏、熱意もさること乍ら兩君に依つて平クラブは磐石の安きにあるともいへる。後援者としては神谷兼次郎氏、田村礦業所長田村五郎氏、國際電球社長園部義雄氏である。

同氏等のスポーツに對する理解と郷土のスポーツ向上に對する熱情にはなみ／＼ならぬものがあり市役所あとのテニスコート等の實現には氏に負ふ所少くない。我々の歩んだ過去半歳餘の道は豫期したやうな花々しいものであつたといへぬ。何故もつと立派な成果を得られなかつたらう。我々は我々の努力の足らぬ点をなげくのみである。しかし、足まもない聯盟の仕事としては事情やむを得なかつたことを諒せられたい。私は一般人がスポーツとはよく

一人でありませぬ。私達には、教育者、世の師表たるべき人として我が道を自覺し、一踏教育の道に熱情を傾けつゝ、尊厳を守り闘争する姿こそ信ぜられる先生方の涙ぐましい運動であると思はれまします。正しく輿論の支持をうけ何等の政治的色彩なく、教育の爲、愛する教へ子の爲に闘ふ事。それが完全に而して早急に要求を貫徹出来る道であると思ひます。無心に我が師を信じ絶對的尊敬を持ち、さやかな若芽に明るき未來を夢みつゝある生徒児童にとり

高木君を敬し

本紙讀者、賛援者に敬す

山田 緑 雨 生

寸言述懐を許されよ。私は紙上、壇上、街頭より暫晦して春風秋雨十年になつた想起すれば大正十二年五月即ち關東大震災の直前、病軀を故山の自然に托さんとて、今は亡き老母が、早稲田穴八幡の飯寓に私を迎へて、生郷磐城平に歸來した。上野驛頭見送る血盟の同志に再見を誓つて汽車は北進し遂に尼子の橋を、松ヶ丘山頭を見た。かうして私はどうとう生れふるさとの土の香に親しんで、或は紙上に又壇上にそして街頭の士になつた事は郷土民衆の熱知せらるゝと深觀先見する所あり。十年前暫晦生活に入つたたま／＼高木君の文を讀む斯の人、眞面目な文筆人ら路に立つ一血叫の傲を飛ばす。日刊か、廢休刊か。斷筆して私の如く沈潜暫晦せんか？ 君が内心の苦悶察

先生方の今日の運動は、實に父母の生死にもたゞよべき大問題であると思ひます。ゼネストを断行せし後の生徒児童の途る日々は、而してその胸の中は如何ぞやか。彼等に暗い冷たい氣持を與へたくはありませぬ。教育は少くとも初等教育は普遍性を必要とすると思ひます。どうも先生方には運動の始められた動機に思ひを致し愛する子の爲、信ぜられる己の立場を自覺せられ、明るき解決策をとられ致す次第であります(大嶺慶一)

なのだといふ風にかへてもつと／＼スポーツの普遍化をはかりたいものだと思ふ

Advertisement for 'Material' (材料) with a list of items and prices. Includes '高價買入' and '平市店'.

Advertisement for '文具部' (Stationery) and '久野電機工業所' (Hisano Denki Kogyo). Lists various stationery items and electrical services.

Advertisement for '星製薬株式会社' (Hoshikuni Seiyaku Co.) and '新星硝子工業株式会社' (Shinsei Shoushi Kogyo Co.). Lists pharmaceutical products and glassware.